

# 2012 春日井市民第九演奏会



とき **2012年11月4日(日)**

午後3時開演(午後2時開場)

ところ **春日井市民会館**

入場料 **1,000円** [全自由席] (消費税込)



ソプラノ  
並河 寿美



指揮  
井村 誠貴



テノール  
松本 薫平



アルト  
河村 典子



バリトン  
田中 勉

指揮 ■ 井村 誠貴

ソプラノ ■ 並河 寿美    テノール ■ 松本 薫平

アルト ■ 河村 典子    バリトン ■ 田中 勉

管弦楽 ■ 春日井市交響楽団

合唱 ■ 春日井市民第九合唱団    合唱指導 ■ 松下 伸也

曲目 ■ ワグナー作曲

『ローエングリン』より「エルザの大聖堂への入場」

ベートーヴェン作曲

交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

チケット取扱い場所 [9/6(木)より発売]

- 文化フォーラム春日井
- 東部市民センター
- 2F文化情報プラザ
- ふれあいセンター
- 春日井市役所
- (味美・高蔵寺・南部・西部)
- (2F 情報コーナー)
- 坂下公民館

主催 / 春日井市・春日井市教育委員会  
(公財) かすがい市民文化財団

春日井市民第九演奏会実行委員会

共催 / 春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団

後援 / 中部大学・中日新聞社

指揮 **井村 誠貴** Masaki Imura

オペラ指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を超え、主要作品の他にも、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年には年間オペラ公演回数が日本人では第4位に入るなどオペラ指揮者としての地位を確立。また同年イタリアに留学。現地ではAs.Li.Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行っており、京都市交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団、京都府立医科大学交響楽団、神戸大学交響楽団、大阪大学交響楽団、大阪府立大学交響楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在

となっている。さらに大阪市音楽団、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォル」(市村正親)を皮切りに、「マイ・フェアレディ」(大地真央)、「レ・ミゼラブル」(山口祐一郎)、「ペテン師と詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安藤いづみ)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や、夏川りみ、佐々木実らの実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけでなく、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しく、マルチな才能を発揮。2011年には、「岐阜3000人の第九」を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細かつダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。

ソプラノ **並河 寿美** Hisami Namikawa

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。神戸・灘ライオンスクラブ音楽賞、兵庫県芸術奨励賞、音楽クリティッククラブ賞、他受賞。「ドン・ジョヴァンニ」「イドメネオ」「コジ・ファン・トゥッテ」「ファルスタッフ」「ドン・カルロ」「仮面舞踏会」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「外套」「メリー・ウイドウ」「マリア・ストゥアルダ」「ラ・ファヴォリータ」のほか、「修道女アンジェリカ」「カルメン」「ルサルカ」他多数にタイトル・ロールで出演。新国立劇場「おさん〜心天中島鳥よ〜」(世界初演)おさん、「蝶々夫人」蝶々夫人で出演。また東京都交響楽団コンサートオペラ「トスカ」において故ヴィンチェンツォ・ラ・スコラ氏と共演。びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作公演「トゥーランドット」「アイダ」(沼尻竜典指揮、栗田淳演出)、「タンホイザー」(沼尻竜典指揮、ミハエル・ハンベ演出)に出演。セントラル愛知交響楽団第100回記念定期演奏会「フィデリオ」(齋藤一郎指揮)にレオノーレ、東京アカデミックカペレ「さまよえるオランダ人」セクタ、兵庫県立芸術文化センター

「蝶々夫人」「魔笛」「メリー・ウイドウ」「トスカ」に出演し、各方面より好評を得る。更にスーピン・メータ指揮によるNHK交響楽団ベートーヴェン交響曲第9番、大野和士「サントリー音楽賞受賞記念演奏会」マラー「交響曲第2番「復活」(大野和士指揮東京フィルハーモニー交響楽団)のソリストを務め、いずれも好評を博す。その他、コンサートでは、モーツァルト「レクイエム」、ハイドン「四季」、メンデルスゾーン「エリア」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ベートーヴェン「荘厳ミサ」、ドヴォルザーク「スターバト・マテル」、ヴェルディ「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」他のソリストを務める。リリック・スピントでありながらも、強さの中にドラマを描ける表現力を持つ稀有な存在であり、今後益々の飛躍が大いに期待されている。東京二期会会員。大阪音楽大学准教授、愛知県立芸術大学非常勤講師。

アルト **河村 典子** Noriko Kawamura

愛知県春日井市出身。幼少よりピアノを習い、高校から声楽を志し多治見西高校(音楽科)を経て、東京音楽大学声楽演奏家コースで学び、東京芸術大学声楽科卒業。二期会歌手基礎コース第6・7期終了。二期会オペラ研修所第53修了。ドイツ・ヴェインハイムにて研鑽を積み、第12回長江杯国際音楽コンクール第4位入賞、第3回近・現代音楽コンクール銅賞受賞、第26回コンセルヴィクワン新人オーディション優秀賞受賞。第18回及川音楽事務所・最優秀新人賞(第1位)受賞。コンサートはこれまでに、二期会・歌手基礎コース10周年記念コンサートにオーディションによる選抜で出演、中部大学主催 山田和夫記念演奏会〜若い木のコンサート〜等、

東京と愛知で演奏活動を展開している。2011年5月には、地元愛知で初リサイタルを開催。2012年2月には指揮木村康人、ICU国際基督教大学主催にて第9回アルトソロを努め、4月にはあらかわバイロイト「魔笛」侍女3に出演する。9月には指揮木村康人、演出今井伸昭による「カルメン」タイトル・ロールを控えている。オペラではセヴィリアの理髮師ロジーナ、アルジェのイタリア女イザベラ、薔薇の騎士オクタヴィアン、カルメン等演じる。近年は日本歌曲に積極的に取り組み、メゾソプラノの奥深い音色で毎回好評を得ている。これまで声楽を島崎智子、前澤悦子、フランス語指導を松野良子、発声を穂積麿子等の各氏に師事。現在、日本演奏家連盟会員。

テノール **松本 薫平** Kunpei Matsumoto

京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。高橋大海氏に師事。大学卒業後、渡伊。フィオレンツァ・コッソット、イーヴォ・ヴァンコ、エディット・マルテッリ、ダンテ・マツォーラの各氏に師事。1999年関西二期会35周年記念オペラ「ラ・ボエーム」のドン・ジョヴァンニでデビューし、その後「蝶々夫人」ピンカートン、「カルメン」ドン・ホセ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドゥ、「ランメルモールのルチア」エドガルド、「椿姫」アルフレード、「リゴレット」マントヴァ公爵、「外套」ルイーザ、「トロヴァトーレ」マツリョ、「ドン・カルロ」ドン・カルロ、「オテロ」オテロ、「アイダ」ラダメス、「トゥーランドット」カラフ、「道化師」カニオ、「愛の妙案」ネモリーノ、「ばらの騎士」テノール歌手、「こうもり」アルフレード、「魔笛」タミーノ、「コジ・ファン・トゥッテ」フェルナンド、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ、「マリア・ストゥアルダ」レスター・伯口ベルト、「ラ・ファヴォリータ」フェルナンド、「ランスへの旅」リーベンスコフ伯爵、「ピア・

デ・トロメイ」ギーノ、「沈黙」モキチなどに出演。ルーマニア、トルグムレシュで開催された「冬の音楽祭」ではカヴァレリア・ルスティカーナ(演奏会形式)のトゥリッドゥで出演し、好評を得る。ベートーヴェン「交響曲第9番」をはじめ、ヴェルディ「レクイエム」、プッチーニ「グロリア・ミサ」、マラー「交響曲第8番」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとしても活躍。第27回イタリア音楽コンコロソテノール特賞、第12回摂津音楽祭金賞及び大阪府知事賞、第17回飯塚新人音楽コンクール第3位、第8回ABC新人コンサートオーディション最優秀賞、第2回松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、第13回宝塚ベガ音楽コンクール第3位、第74回日本音楽コンクール入賞。平成13年度兵庫県芸術奨励賞、平成16年度神戸市文化奨励賞、平成20年度咲くやこの花賞、第4回神戸キワズ文化賞など受賞。現在、神戸女学院大学准教授、関西二期会会員。

バリトン **田中 勉** Tsutomu Tanaka

大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。第1回JSG国際歌曲コンクール入選聴衆特別賞受賞。第22回なにわ芸術祭 新人奨励賞。第20回音楽クリティック・クラブ賞。大阪舞台芸術賞本賞受賞。大阪府和泉市文化功労賞。オペラの振り出しは「フィガロの結婚」その後「賢い女」「宮廷楽士長」「イタリアのトルコ人」「ドン・ファン・トゥッテ」「道化師」「サザンナの秘密」「赤い陣羽織」「こうもり」「ピーター・グライムズ」「子供と魔法」「カルメル会修道女の対話」「修禅寺物語」「ファルスタッフ」1990〜1991年文化庁芸術家在外派遣研修員としてウィーン国立音楽大学

に留学。帰国後「椿姫」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「ハルカ」「蝶々夫人」「トロヴァトーレ」「アイダ」「夜間飛行」「フィデリオ」「源氏物語」「夕鶴」「エウゲニオ・オネーギン」「道化師」「アドリアーナ・ルクヴール」「沈黙」「モモ」「散華」「トゥーランドット」など。その他、オラトリオのソリストとしても全国的に活躍中。2010「リゴレット」の演唱に対しては文化庁芸術祭優秀賞を受賞。現在、大阪音楽大学教授、同大学院オペラ・歌曲研究室主任、関西歌劇団理事、日本シューベルト協会会員。

オーケストラ **春日井市交響楽団**

市民オーケである春日井市交響楽団は、「第九の演奏会を春日井でも聞きたい」という私たち市民の希望から生まれました。市内の音楽愛好家を中心になって、「市民が演奏し、市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」が、1990年(平成2年)11月に創立されました。愛称「カポ」(KAPPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の

「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などかならなる50名。私たちにとって、最大の喜びは、一人でも多くのおみなさまに演奏会においていただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。今年の「第九」も、大いに自信があります。ぜひ、お出かけ下さい。

(団長・福垣 徹)

合唱 **春日井市民第九合唱団**

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために、一般市民により編成された合唱団です。平成5年、春日井市市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を期に作られ、今年で20回目の演奏会を迎えています。毎年公募による新しい団員を含め、総勢250名にも達する大合唱団です。平均年齢は、60歳を超えてやや高いのですが、数年前から中部大学混声合唱団の若い力の応援をいただき、元気に

第九を歌っております。6月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、松下伸也先生の優しく丁寧な、時にはユーモアを交えた指導のもと、一生懸命練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音に苦労しておりますが、第九のテーマである「人間はみな兄弟である」という歎びをわれわれ自身も感じながら、演奏会においてくださる皆様方に、少しでもその精神を感じていただくよう精一杯歌います。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。

(団長・須藤章夫)

《いまこそ第九を！復興を願う想いを東北に！！》

All Menschen werden Brüder「すべての人たちは兄弟になる」第九「歓喜の歌」の一節。私たちは東日本大震災を受け、人を想い故郷を想う《絆》の尊さを取り戻そうとしている。今こそ東北の皆さんと手を携えて、共に前進する時です。第九にはその《力》があります。Laufet, Brüder, eure Bahn, Freudig wie ein Held zum siegen!『共に走り出そう！東北の兄弟たち！復興の道を進む勇者のように！』。20回目を迎え新しく生まれ変わる春日井第九。東北の復興を願う想いを、春日井から一緒に届けませんか!? 春日井Brüder(兄弟)の皆様のご鑑賞を心よりお待ちしております。

音楽監督・指揮者:井村誠貴

※都合により出演者が変更になる場合があります。※就学前のお子様のお断り申し上げます。  
※当日券は、販売できない場合もありますので、チケットは事前にご購入下さい。